

令和4年度学校関係者評価委員会 記録

評価委員

立川メディカルセンター常務理事 晴麗看護学校長 上原徹

悠遊健康村病院 リハビリテーション科 技師長 近藤公則

悠遊苑 リハビリテーション科 主任 平原奈緒美

晴陵リハビリテーション学院 学院長 吉井新平

晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長 菫澤力

晴陵リハビリテーション学院 作業療法学科 学科長 上杉文都

晴陵リハビリテーション学院 事務長 五十嵐孝之

令和5年3月30日記録

新型コロナウイルス感染症を考慮し、今年度も集まっていたく形ではなく、資料・説明をお渡しし、後にそれぞれよりご意見をいただく形を取らせていただきました。

上原評価委員、近藤評価委員、平原評価委員より令和5年3月27日に意見を頂きました。頂いた意見をふまえ、今後の学院の運営、教育現場の改善に反映をさせていきたいと考えています。以下の通り記録します。

事務局説明・委員会意見

各細分項目について

(1)教育理念・目標について

事務局

本年度も大学等における修学支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請（高等教育修学支援新制度）及び許可を頂いたため、教育理念、教育目標等の情報公開を行なっております。

TVCMにつきましても継続が大事とのご意見をいただいておりますので今年度も昨年同様（Teny テレビ新潟にて期間一ヶ月を2回）、行わせていただきました。

委員会

おおむね適切に対応されていると思います。

(2)学校運営

事務局

高等教育修学支援新制度の関係もあり、情報開示、意志目的の共有などを行なっています。ブログをリニューアルして発信を始めました。今後もブログを通し、学生生活などを伝えていきます。

教員の研修会参加は新型コロナの影響でオンラインがほとんどでしたが、来年度より以前と同じように年1回は研修会に参加し、自身の向上に努めていただきます。あわせて、グループ病院における臨床への参加も進めていきます。

委員会

学校の運営伝搬については、制度に合わせ適切に行うよう努力されていると思います。TVCMのみでなく、ブログ等で情報発信を始められたことは、学院の魅力を伝えるうえで効果が期待できると思います。どの程度反応に違いが出るか知りたいところです。

ブログ更新やテレビコマーシャル等、学院側から発信し続けることは意義があることと思います。

コロナ禍前のように対面での研修に参加できることは、教員や学生のためにも有効であると思います。

(3)教育活動

事務局

新しいカリキュラムに改定されてから初の卒業生でした。各学生からの授業評価も得ていますが、実習施設などからも情報収集し、今後の教育活動に反映させていきます。

委員会

コロナで困難となった姉妹校の晴麗看護学校スタッフとの交流を行い、教育機関としての問題点などを定期的に話し合える場があるとよいのではないかと考えます。

新しい実習のカリキュラムとなり、就職先となった施設からの情報が学生を教育する上で参考になると思われます。実習先の情報も含め、今後も連携を取っていけるとよいと思います。

(4)学修成果

事務局

学生管理システムには卒業生も含まれるので、各自獲得した情報を入力し、情報共有を図ります。

卒業生の様子については、臨床実習訪問などの際に学生の状態などに合わせて就職した卒業生の話が出ることもあるので、収集できた情報を学生管理システムで共有していきます。

委員会

学生管理システムの整備は、学院全体での情報共有に有効であると思います。

晴麗看護学校の場合、留年者のほとんどは結局、退学せざるを得ない状況にあります。

留年者及び退学者についての詳細な分析が必要と思われます。(入試、学業、実習レベルでの評価)

留年者、退学者数の減少をはかる為の対応が求められます。

卒業生に対して就職先の医療機関との連携も重要です。

(5)学生支援

事務局

新型コロナも収まってきたところなので対外的なところを一部復活させてきました。(中学校の上級学校訪問や外部研修会への会場貸出など)卒業生の勉強会や、対面での就職説明会、学生サークル活動支援など来年度より再開します。

委員会

感染対策が緩和されつつある中で、対面での活動が再開され、人と関わる機会が増えることは、リハビリ職を目指す学生には必要と思われます。ただ、今までの感染対策の制限なる学生生活を過ごしてきたことから、人とのかかわり方(距離、時間を含めた)の支援が必要かもしれません。

新型コロナウイルスの影響でしばらくオンライン中心でしたが、対面が徐々に再開されてきます。対面が慣れておらず緊張から力が発揮できないことも考えられますので、事前準備等でフォローし、出来るだけスムーズに移行していくことが大切かと思えます。

(6)教育環境

事務局

校内 LAN の再配線など検討しています。

来年度より臨床実習指導者会議を従来の対面型に戻します。対面で行うことにより、より連携を深めていくとともに収集した情報を教育活動にフィードバックしていきます。

委員会

おおむね適切に対応されていると思えます。

(7)学生の受入れ募集

事務局

新型コロナの影響で高校訪問がほとんどできていません。業者を介した校内ガイダンスも少なく、近年学生の学校選択の仕方に変化がみられるので対応していきます。(受験校に行ってみて知るのではなく、調べて絞ってから調べた内容の確認にオープンキャンパス行くなど)

ホームページに載せる情報の種類などに気を配って魅力ある情報発信を心掛けます。

委員会

学生の確保については、引き続き高校への働きかけやメディアを利用し、努力されていると思えます。魅力ある学院を継続的に発信し、入学に繋がればと思えます。

発信する情報(「欲しい情報」や「情報収集の方法」等)について、学院の学生やオープンキャンパスに参加する高校生から、アンケートなどで意見や感想をもらうのはどうか。

入学した学生の出身高校との連携。特に学生がどう勤勉に励んでいるか、学院卒業後どうなっているかなどの情報提供も必要と思われる。

(8)財務

ホームページに情報公開しています。

委員会

おおむね適切に対応されていると思えます。

(9)法令等の遵守

必要な条件は満たしています。

委員会

個人情報保護について、学生にも守秘義務があることを明確に指導する必要がある。また、SNSの適切な使い方についても念を押す必要がある。

(10)社会貢献

新型コロナの影響もあったため学生ボランティア活動等に特別なことは行なっていません。来年度サークル活動などで学生から申し出があった場合は、前向きに対応していきます。中学生などの上級学校訪問は、今年度6月から10月の間で6校対応しました。来年度も特別な事情がない限り、受け入れていきます。

委員会

グループ病院のイベント（病院祭的なもの）に学生も積極的に参加してもらおう。

学生サークルや学生ボランティアの活動等の再開には、学生からの申し出に加え、学院からも紹介や提案をするのはどうか。（今の学年は新型コロナ感染対策の為、サークルやボランティア活動の経験が少ないのでは）

事務局総括

今年度は、指定規則変更後の新カリキュラムでの初の卒業生が出る年でした。昨年同様、新型コロナの影響は多少あったものの、問題なく終えることができました。学生募集が環境変化に追いついていないところがあるので、早急に改善していきます。学生生活では新型コロナが収束に向かっていきますので、学生の学校生活の充実（学校行事の復活）を図っていきます。また、来年度は5年に一度のリハビリテーション教育評価を受ける年になります。順次対応し、今後に活かしていきます。

晴陵リハビリテーション学院 自己評価表

R5.2.22 実施

1. 学校の教育目標

1. 理学療法士・作業療法士に必要な確かな知識・技能を身につけた人材の育成。
2. 専門能力を発揮するために挨拶、礼儀、言葉遣い、道徳、協調性などの人間として基本的な態度を養い現場で活躍することができる人材の育成。
3. 明るく、たくましい心を培い、相手の立場に立ち共感し、思いやりを持った関わりができる人材の育成。
4. 自主自学の精神の基、修得した知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み主体的に学び続けることができる人材の育成。
5. リハビリテーションチームの一員として将来、社会で活躍するために必要な真摯な態度と謙虚な姿勢、内省力、発信力を身につけた人材の育成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学校説明会・体験入学会など広報活動をしっかりと行い、入学者数定員（各40名）を確保する。

退学者の減少を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④・3・2・1	
学校における職業教育の特色は何か	④・3・2・1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4・③・2・1	
学校の理念・目標・育成人材像・特色・未来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④・3・2・1	HP、パンフレット等に記載
学校の理念・目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4・③・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4・ 3 ・2・1	職員間で共有されているが明文化されていない
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・ 3 ・2・1	事業計画は策定されている
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4・ 3 ・2・1	一部学則に記載し、運用
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ・3・2・1	医療法人に準ずる形で整備されている
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4・ 3 ・2・1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ・3・2・1	行政指導に従い行なわれている
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・ 3 ・2・1	適切に対応している
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・ 3 ・2・1	学生管理システムを導入した

I. 課題

- ・明文化されていない部分がある

II. 今後の改善方策

- ・不足している部分の明文化

III. 特記事項

- ・学生管理システムを導入した

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④・3・2・1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④・3・2・1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④・3・2・1	臨床実習指導者会議や学校関係者評価、グループ病院との連携を利用している
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④・3・2・1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1	
職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	④・3・2・1	リハビリテーション教育評価機構
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1	
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4・③・2・1	医療法人と連携をとるなどしている

<p>関連分野における先端的な知識・技術等の修得のための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>関連病院での実務参加をし、教員の知識・技術のバージョンアップができる機会がある</p>
<p>職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>全員ではないが関連病院等で実地に関わる機会を設けている</p>

I. 課題

- ・医療グループであることの強みをさらに生かしていきたい。

II. 今後の改善方策

- ・教員が現場に出る機会を増やしていき、学生にフィードバックできるようにしていく。

III. 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1	全体で就職指導、就職相談会の実施等
資格取得率の向上が図られているか	④・3・2・1	国家試験特別講座等の実施
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1	個別指導等の実施 休学規定の変更
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・3・②・1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4・3・②・1	機会あるごとに卒業生の情報を収集していく

I. 課題

・機会があれば卒業生の就職後の様子を聞くことはあるが、とりたてて把握する活動をしていない

II. 今後の改善方策

- ・実習地訪問などの機会の利用
- ・同窓会との連携を図り、改善を図る
- ・学生管理システムの活用

III. 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1	就職相談会、個別指導の実施
学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1	担任制、スクールカウンセラー配置
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1	納付金の2期分納、特待生制度、公共制度申請など
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1	病院と連携し、健康診断実施、感染症抗体検査やフォロー
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4・③・2・1	学校施設の活用
学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1	スクールカウンセラー配置
保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1	定期的なものはないが必要に応じて
卒業生への支援体制はあるか	4・③・2・1	勉強会等実施 施設の貸出
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・③・2・1	個別で対応している
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④・3・2・1	中学校・高校の学院 訪問受け入れや職業啓発活動

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている

I. 課題

II. 今後の改善方策

・ICTへの対応

III. 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学生募集活動は、適正に行われている	④・3・2・1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1	
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1	

I. 課題

- ・広報の手段、方法、内容の見直しは常に必要
- ・ホームページの見直し

II. 今後の改善方策

- ・コロナ禍でできていなかった高校訪問の再開
- ・ICT化

III. 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・3・2・1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1	部分的に達成できていない
財務について会計監査が適切に行われているか	④・3・2・1	
財務情報公開の体制は整備できているか	④・3・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④・3・2・1	
自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1	体育館の貸出など
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4・3・②・1	特別なことはしていない
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4・③・2・1	依頼されたものは受けている

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年の学校関係者評価を経て、改善されたこともあるがまだ不足しているところも見受けられる。コロナ禍ではあるが、3年生の実習、2年生の評価実習等実習関係はしっかりと対応し、影響なく行えた。今後は学生の学校生活の充実のため、キャンプや学園祭に替わるイベントを再開させていく必要がある。